



謹んで年頭のご挨拶を申しあげます

秋田なまはげ農業協同組合 代表理事組合長

佐藤 広美

あけましておめでとうございます。日頃より当JA事業へ特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

昨年は、例年より早く訪れた春に霜害が発生し、開花期を迎えていた天王地区の梨を中心に、甚大な被害が及びました。7月には観測史上最大規模の大雨が管内を襲ったことで、農地や住宅、道路などといった我々の生活圏の広範囲が被害を受け、県内の農林水産関係の被害額は過去最大となりました。当JAでも一部の事業所やATM、業務用車両などが浸水し、組合員および地域の利用者の皆様にはご心配とご不便をおかけいたしました。また、県内外の農業関係者やお取引先様、JAなどから多大なるご支援を賜りましたことに、深く感謝を申しあげます。

その後の夏場は全国的に見ても厳しい酷暑が連日続き、生産者の皆様は農産物の栽培管理や農作業への影響に大変苦慮されたことと 생각합니다。一転して、水稲や大豆の収穫期には

天候不順が続くなど、度重なる異常気象などが起因して1等米比率は例年を下回る結果となり、本県中央の作況指数は95の「やや不良」となりました。今や極端な気象経過や高温障害などは珍しいものではなく、今後の常態化が懸念されています。持続可能な農業経営のためには、耐高温性品種の開発や近年の厳しい気象に対応した栽培体系、技術の普及および営農指導が必須であり、当JAは農業関係団体と連携を強固にしながら、異常気象によるリスクを軽減して生産者が農業を続けやすい営農体制の構築に、一層取り組んでまいります。

11月には第146回秋田県種苗交換会が潟上市を会場に開かれ、予想を上回る71万人の方々にご来場いただきました。当JA管内の天王地区で行われた農産物出品展示では、鈴木作雄さんの日本なし「あきづき」と農事組合法人平沢ファームのダリア「NAMAHAGEPARL」が農林水産大臣賞に輝き、三浦孝

本年もよろしく

お願い申しあげます

代表理事組合長

佐藤 広美

代表理事副組合長

吉田 文勝

代表理事専務

佐々木 崇

常務理事

田口 一樹

吉田 朋志

代表監事

白土 行紀

常勤監事

伊藤 真澄

理事

安田 学

佐々木 新一